

総合型地域スポーツクラブでの障がい児・者の受入れ状況調査
集計結果

I.調査の目的

県内の特別支援学校及び特別支援学級に在籍する児童・生徒のみなさんが、日ごろからスポーツに親しむことのできる環境づくりを進めるため、学校の中や地域の中でスポーツ活動を継続するうえで必要な課題や状況を把握することを目的とする。

II.調査概要

1.調査対象者

佐賀県内の総合型地域スポーツクラブ 27 か所

2.調査時期

令和7年7月18日～8月8日（22日間）

3.調査方法

メールにより調査票を送付し、LoGo フォームにて回答を得た。

4.回収状況

送付数 27 部

回収数 10 部 回収率 37.0%

有効回収数 10 部 有効回収率 37.0%

III.調査結果の概要

1.回答者の基本的属性について

回答のあった「総合型地域スポーツクラブ（以下、総合型クラブとする）の会員数と障がい者数」については以下の表1のとおりである。回答のあったクラブの多くで障がい者の在籍は0名若しくは少数に留まっている。

障がい種別については、障がい者の在籍のある C、D、F、J 総合型クラブの多くは「発達障がい」の回答が見られ、E 総合型クラブのみ「肢体不自由（車いす必要）」の回答が得られた。

表1.総合型クラブの会員数

No.	総合型クラブ	会員数	内、障がい者数	障がい種別
1	A	42	0	
2	B	67	0	
3	C	40	1	発達障がい
4	D	40	0	
5	E	230	1	肢体不自由(車いす必要)
6	F	286	2	発達障がい
7	G	846	0	
8	H	330	0	
9	I	110	0	
10	J	150	1 20	発達障がい

「障がい児・者がいる場合、障がいの特性に合わせて工夫されている事例があれば教えてください。」について、受け入れをしている総合型クラブに関しては、発達障がいのある障がい者への配慮がすでに確立されていることが見て取れる（表2）。

表2.障がい児・者がいる場合、障がいの特性に合わせて工夫されている事例があれば教えてください。

総合型クラブ	回答
A	-
B	-
C	軽度の発達障害なので、コミュニケーション等は支障なく、練習中に身体の使い方など全体に説明した後、本人が理解できているか観察しています。個別に補足説明したり声をかけたりはしています。
D	-
E	-
F	子どもなので、スタッフが付かず離れずの状態で見守っている状況によっては声かけなどを行ったりしている
G	-
H	-
I	-
J	放課後等デイサービスを併設している

「障がい児・者と一緒に活動することで、いい影響があれば教えてください。」という質問については、表3のとおりのおりの回答が得られた。障がいのある者となない者が同じ総合型クラブ内でスポーツを通して交流することで相合にポジティブな変化が生まれていることが示唆される。

表3.障がい児・者と一緒に活動することで、いい影響があれば教えてください。

総合型クラブ	回答
A	-
B	-
C	クラブ内にも友だちが多いので、普段から接している分、子どもたちの方が対応に慣れていると感じます。特別扱いすることなく個性として捉えてサポートしてくれているので、多様性として自然と受け入れていると思います。
D	-
E	-
F	子どもたち同士で声掛けをしたり、代わりにやってくれたり、毎年参加してくれる子どもさんもいて、昨年より落ち着いて参加してくれている
G	-
H	-
I	ユニバーサル社会実現への身近な機会と捉えています。スポーツを通し、お互いを理解し、共有できる手段になると考えています。
J	障がいをもつ子達にとってはいい刺激、いい学びとなる様だ

「障がい児・者を受け入れるにあたっての課題や、受け入れることが困難な理由があれば教えてください。」については、サポートに対する専門知識とそれに対応し得る人員が不足していることが予想される結果となった。(表4)。

表4.障がい児・者を受け入れるにあたっての課題や、受け入れることが困難な理由があれば教えてください。

総合型クラブ	回答
A	-
B	-
C	1~2人の指導者で数十人を指導するので、肢体不自由や視覚障害など個別対応が必要な子は保護者同伴などのサポートが必要。障害児サポートの専門知識があるわけではないので、保護者から過剰な期待をかけられるのも荷が重い。
D	-
E	-
F	チャレンジスポーツ教室などは競技によっては指導者だけではなくスタッフも見守りが必要なときに、参加が多いとスタッフが必要になる
G	指導者やスタッフ等がない。
H	-
I	何か特別な環境整備や知識が必要では無いかと、ほとんどの人が身構え拒んでいるのではないかと思います。
J	放課後等デイサービスを運営しているので困難な事例はない

「今後、障がい児・者を対象とした事業の計画があれば教えてください。」については、各総合型クラブが持っているネットワークを事業につなげる計画も見られた(表5)。

表5.今後、障がい児・者を対象とした事業の計画があれば教えてください。

総合型クラブ	回答
A	-
B	-
C	ブラインドサッカー協会とつながりがあるので、体験会などのイベントを開催したいと考えている。ほかニュースポーツなど障害児も高齢者も参加できる種目を増やしていきたい。
D	-
E	-
F	特別には計画してはいない。 ただ毎年行っている委託の教室等についての参加の申し込みがあれば受け入れることになると思う断ることはないとする
G	-
H	SAGAみんなのパスポひろば!!を今年度6回開催予定。
I	県の事業を受託します。
J	発達障がいを持った子たちによる空手道大会の開催

「県が行う、障がい児・者が地域の中でスポーツ活動ができる環境整備事業について、今後、県と連携し、貴クラブ内で事業実施することを希望されますか。」については、「ない」と回答した総合型クラブが7か所ある一方で、「ある」と回答する総合型クラブが3か所あった。

表6.県が行う、障がい児・者が地域の中でスポーツ活動ができる環境整備事業について、今後、県と連携し、貴クラブ内で事業実施することを希望されますか

総合型クラブ	回答
A	ない
B	ない
C	ある
D	ない
E	ない
F	ない
G	ない
H	ある
I	ある
J	ない

スポーツ庁 令和7年度「パラスポーツ推進プロジェクト（特別支援学校等における運動部活動の地域連携・地域移行支援事業）」受託事業
 集計：一般社団法人佐賀県パラスポーツ協会
 調査：佐賀県